

事務事業名		児童生徒各種健康診断事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業																															
政策体系	政策名	0 3 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目																															
	施策名	1 5 学校教育の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計 款 項 目 事業																															
	基本事業名	0 4 たくましく健やかな体の育成		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 S33 年度～)		01 10 02 01 04 01 10 03 01 04																															
根拠法令				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度		事務事業区分																															
所属	部課名	教育委員会事務局 学校教育課		※全体計画欄の総投入量を記入		A 政策事業 B 施設整備																															
	課長名	佐藤 真				C 施設管理 D 補助金等																															
	係名	学務係	電話 0192-27-3111			E 一般(1~4以外)																															
	担当者	山崎 あゆみ	内線 292																																		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																																	
児童生徒の各種健康診断(内科・眼科・耳鼻科・歯科・尿検査・心電図検査・結核検診・健康管理検診)を実施する。 主な業務内容は、各学校医・歯科医・薬剤師の選定依頼及び委嘱、各種健康診断日程調整、各種健康診断結果の各学校医等への報告及び集計である。 事業費は、各種健康診断実施委託料等である。				<table border="1"> <tr><td>総投入量</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>事業費</td><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>財源内訳</td><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>				総投入量	国庫支出金		事業費	都道府県支出金		財源内訳	地方債			その他			一般財源			事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量	国庫支出金																																				
事業費	都道府県支出金																																				
財源内訳	地方債																																				
	その他																																				
	一般財源																																				
	事業費計(A)	0																																			
人件費	正規職員従事人数																																				
	延べ業務時間																																				
	人件費計(B)	0																																			
	トータルコスト(A)+(B)	0																																			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 小学校1校あたりの検診回数 回	
各各学校医等への委嘱及び報酬支払い、各種健康診断日程調整、各種健康診断結果の各学校医等への報告及び集計		イ 中学校1校あたりの検診回数 回	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
各各学校医等への委嘱及び報酬支払い、各種健康診断日程調整、各種健康診断結果の各学校医等への報告及び集計		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称 単位	
児童生徒		カ 市立小中学校児童生徒数 人	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ	
心身ともに健康で学校生活を送ることができる。		ク	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
健康でたくましく成長する。		名称 単位	
		サ 有所見者数(延べ数)(H30～) 人	
		シ 有所見者のうち通院者の割合 %	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	4,265	4,433	4,326	4,167	3,831	3,651
	事業費計(A)	千円	4,265	4,433	4,326	4,167	3,831	3,651	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	300	300	300	300	300	300
		人件費計(B)	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
		トータルコスト(A)+(B)	千円	5,465	5,633	5,526	5,367	5,031	4,851
⑤ 活動指標		ア	回	7	7	7	7	7	7
	イ	回	7	7	7	7	7	7	
	ウ								
⑥ 対象指標	カ	人	2571	2487	2386	2313	2263	2,188	
	キ								
	ク								
⑦ 成果指標	サ	人	-	-	-	1,686	1,720	1,366	
	シ	%	-	-	-	65	62	60	
	ス								

事務事業ID	0940	事務事業名	児童生徒各種健康診断事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	根拠法令の制定(昭和33年)に伴い、事業を開始している。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	市内及び気仙管内開業医が不足(特に市内での眼科医と耳鼻科医は1名ずつ)となっている。 その影響で、耳鼻科検診については、当市のほかに陸前高田市・住田町・県立高校の日程調整を当市で実施している。 加えて眼科検診において、平成24年度分から住田町の、平成26年度分から陸前高田市の日程調整も当市で実施している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	開業医の不足(特に小児科医・眼科医・耳鼻科医)により、日程調整に相当の労力を使うこととなるため、改善が求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかないか？意図することが結果に結びついているか？ 市立小中学校児童生徒が、心身ともに健康で学校生活を送ることができるように、各種健康診断を実施している。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 根拠法令に基づき、遅滞なく事業実施している。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 意図についても、根拠法令で定められており、限定追加する必要はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 現在本事業は、全ての市立小中学校児童生徒を対象としており、これ以上の成果向上余地が認められない。 今後、有所見者の数値を把握し、その治療率の向上を狙う。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 根拠法令の義務規定を怠ることとなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 対象が根拠法令で定められており、削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) すでに検診実施を民間業者へ委託(アウトソーシング)している。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 根拠法令に基づいて事業実施しているため、受益者負担は適正ではない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																		
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	本事業は適正に進められており、今後も現状維持で実施する。